受付番号	1	推薦を受ける者 応募者	田中　正治

推薦（応募）理由書

１.農業委員として推薦（応募）した主たる理由。抱負（委員として取り組みたい事項）

・農業の課題は後継者、新規参入者ともに従事者の減少、耕作放棄地の発生防止解消等があります。これらの課題等を少しでも改善し、その先の食料自給率、現在の37％を高める事を委員の皆様と推進したいのが応募の理由です。
・日本の基幹的農業従事は、約130万人まで減っています。しかもそのうち約90万人が65歳以上（70％）で、このような現象は霧島地区では更に高齢化は進んでいると思います。親の経営をそのまま継承しながら、新しい発想のもとに経営を改善する例が最も経済的にも合理性があり最善の農業後継者と言えます。その為には「生産することが農業だ」ではなく「生産してそれを売る事が仕事だ」である「農業はビジネス」という事を広めていきたい。

２.農業委員として取り組む、担い手への農地の集積や耕作放棄地の解消、新規参入の促進などの活動についての考え方

・「農業はビジネス」との考えで個人経営から組織型農業、法人化農業つまり農業の協業化、会社化を推進しようと国も「農業経営向上支援事業」で、現在の農業法人約３万社を2025年までに５万社まで増やす目標を掲げています。
・耕作放棄地は、農業に不便な山間部に散在しているが、農業に便利な有利な農業を法人に新規参入させる事で解消し、新規参入の促進にもつながります。
・新規参入の促進、ブランド化、大型化、六次産業化等に関しては、多くの金融機関でアグリビジネス投資、農業ファンドを設立し、さまざまなビジネスチャンスを支援しています。
・霧島市は第二次霧島市総合計画に基づいて、令和４年度に「担い手経営発展等支援事業」で認定農業者、新規就農者など44事業体の支援で4,301万円の歳出実績があります。

３.「別添３　経歴書」の、これまでの職歴や地域との関わり（土地改良区、自治会、生産者団体等の役職暦）のうち、地域に根ざした農業委員として活動するうえで特筆すべき点

・職歴の中で、平成26年に鹿児島銀行グループ、日置市を中心に鹿児島オリーブ(株)を設立して、代表取締役に就任しました。
・オリーブの六次産業化として、オリーブの栽培から加工、販売を通じて地域の活性化を目指しました。オリーブは、苗を植えてから生産するまでは４～５年を要するため、その間は、イタリア、スペインからオリーブを輸入して販売し県内全域にオリーブオイルを売り込みました。
・平成３０年に自社の搾油工場が稼働し、現在は自社製品、イタリア、スペインの商品を販売しています。
・鹿児島オリーブでの経験を生かしながら、推進委員の皆様、農業従事者、支援団体法人等多くの人と情報交換、情報収集を通して活動していきたい。

４．推薦（応募）者は、公平・公正な立場で農業委員会の業務ができると思われるか。（思うか）

はい

受付番号	2	推薦を受ける者 応募者	槐島　睦夫

推薦（応募）理由書

１.農業委員として推薦（応募）した主たる理由。抱負（委員として取り組みたい事項）

地域の皆さんや、農業委員・推進委員、行政など努力で守り続けてきた農地を今後は、女性や農業従事者以外の若者など幅広い意見を取り入れながら、地域が一体となって話し合い次の世代に引き継いでいくため、将来のあり方「目標地図」を策定していく必要があります。

その地域計画の策定に当たってこれまでの経験を生かし、農業者の多くの情報を持っている地域の委員さんと一体となって取り組んでいきたいと思います。

２.農業委員として取り組む、担い手への農地の集積や耕作放棄地の解消、新規参入の促進などの活動についての考え方

これまで地域での話し合いにより、人・農地プランを作成していますが、近年において新規就農者の停滞や、高齢者により農業者の減少に拍車がかかり、耕作放棄地も拡大し、地域の農地が適切に利用されなくなることが懸念されます。国、県においても地域の現状を確実に伝えながら、新たな問題提起と解決方法など本市の農業発展に貢献していきたいと考えています。

３.「別添３　経歴書」の、これまでの職歴や地域との関わり（土地改良区、自治会、生産者団体等の役職暦）のうち、地域に根ざした農業委員として活動するうえで特筆すべき点

現職　比曽木野営農組合代表、福山町猟友会監事、福山町家畜商組合組合長
霧島市農業委員会会長、鹿児島県農業会議常設審議委員
鹿児島県農業会議理事・副会長、鹿児島県地域振興公社評議員

４．推薦（応募）者は、公平・公正な立場で農業委員会の業務ができると思われるか。（思うか）

はい

受付番号	3	推薦を受ける者 応募者	畦地　直也

推薦（応募）理由書

1.農業委員として推薦（応募）した主たる理由。抱負（委員として取り組みたい事項）

・就農者の高齢化や担い手不足により、中津川地区でも放棄地が増えている。このような状況を改善すべく、地域の方とコミュニケーションをとり、放棄地を少なくすべく自ら行動していく。

2.農業委員として取り組む、担い手への農地の集積や耕作放棄地の解消、新規参入の促進などの活動についての考え方

・自らも新規で就農したことから、自分の体験を基に改善すべき点などを見つけ、他の委員と相談なしがら、できることを１つずつ解決するよう努めていきたい。

3.「別添３　経歴書」の、これまでの職歴や地域との関わり（土地改良区、自治会、生産者団体等の役職暦）のうち、地域に根ざした農業委員として活動するうえで特筆すべき点

・特になし

4．推薦（応募）者は、公平・公正な立場で農業委員会の業務ができると思われるか。（思うか）

はい

受付番号	4	推薦を受ける者 応募者	口輪野　健一

推薦（応募）理由書

1.農業委員として推薦（応募）した主たる理由。抱負（委員として取り組みたい事項）

・農地の鳥獣被害の防止について取り組みたい。
・鳥獣対策を検討したい。

2.農業委員として取り組む、担い手への農地の集積や耕作放棄地の解消、新規参入の促進などの活動についての考え方

・衣、食、住は人の生活の基本です。
　その中の農業問題は、今後の課題なので支援していただきたい。

3.「別添３　経歴書」の、これまでの職歴や地域との関わり（土地改良区、自治会、生産者団体等の役職暦）のうち、地域に根ざした農業委員として活動するうえで特筆すべき点

・地区の自治会活動には、積極的に参加しています。

4．推薦（応募）者は、公平・公正な立場で農業委員会の業務ができると思われるか。（思うか）

はい

受付番号	5	推薦を受ける者 応募者	松下　さえ子

推薦（応募）理由書

1.農業委員として推薦（応募）した主たる理由。抱負（委員として取り組みたい事項）

・これまで農業委員として、色々な事を経験し頑張ってきました。
農業者の高齢化や後継者不足で担い手が減ってきています。そんな中、遊休農地も増え、農地も増え、農地を売買する方も増えてきています。
・これからは、農業経営者や新規就農者の方が作りやすい環境を整えていく事が、大切な事だと思います。これまでも遊休農地の解消とあっせん活動に取り組んできました。地域の農地を守り、農業経営者の所得を増やすため、一生懸命取り組みたいと思います。
・最適化推進委員として頑張ります。

2.農業委員として取り組む、担い手への農地の集積や耕作放棄地の解消、新規参入の促進などの活動についての考え方

・農業経営者の高齢化によって担い手不足が増える中、遊休農地も増えてきております。
・地区によって、農地の格差も大きいです。それぞれの経営者にあったやり方があり、大型農家で経営を拡大してやっていきたい方は、農地の集積が必要です。
・新規就農者の方は、色々な事で支えが必要です。できるだけ現地へ出向いて、皆さんの声を聞くという活動が大切な事だと思っています。農家の方との情報を繋ぐ役割として活動に励みたいと思います。

3.「別添３　経歴書」の、これまでの職歴や地域との関わり（土地改良区、自治会、生産者団体等の役職暦）のうち、地域に根ざした農業委員として活動するうえで特筆すべき点

・隼人の学校給食センターへの野菜と果物の納入業者として、平成14年度から現在も農家の方のグループを作り取り組んでおります。月に１回栄養士の方と話し合いも行っております。
・生産者の方も食育と遊休農地への解消に取り組む事ができ意欲があります。
・これからも引き続き活動を広げていきたいと思います。

4．推薦（応募）者は、公平・公正な立場で農業委員会の業務ができると思われるか。（思うか）

はい

受付番号	6	推薦を受ける者 応募者	前島　広紀

推薦（応募）理由書

１.農業委員として推薦（応募）した主たる理由。抱負（委員として取り組みたい事項）

・地域の農家と農業委員会との情報交換の役を担いたい。
・市議会議員の立場から、営農者の声を行政の農業施策に届け、活用・改善・支援する役を担う。
・若者の新規就農者を発掘して、持続可能な農業を推進していく。
・高齢化社会が進んでいる現状において、推進員として農業と福祉の連携（農地情報を共有）して、地域住民と協働で農地の有効活用を推進していく。
・平成25年から４年間農業委員、平成30年から現在まで６年間農地利用最適化推進委員をした経験・実績・知識をこれからの農業委員会の活動に生かしていく。

２.農業委員として取り組む、担い手への農地の集積や耕作放棄地の解消、新規参入の促進などの活動についての考え方

・少子高齢化が進む今日において、農業を志す若者も増加している。国分の北部（奈良田～重久～郡田付近）においては、規模拡大をおこなっている農家も数件ある。これからはそれらの希望者の要望に応えられるよう、農地利用計画の情報収集を行っていかなければならない。

３.「別添３　経歴書」の、これまでの職歴や地域との関わり（土地改良区、自治会、生産者団体等の役職暦）のうち、地域に根ざした農業委員として活動するうえで特筆すべき点

４．推薦（応募）者は、公平・公正な立場で農業委員会の業務ができると思われるか。（思うか）

はい

受付番号	7	推薦を受ける者 応募者	迫田　緑

推薦（応募）理由書

1.農業委員として推薦（応募）した主たる理由。抱負（委員として取り組みたい事項）

・一期（３年間）で勉強した事を生かし、地域農業のために努力したい。

2.農業委員として取り組む、担い手への農地の集積や耕作放棄地の解消、新規参入の促進などの活動についての考え方

・担い手不足の現状ではあるが、高齢の農業者や兼業農家の方々の力も借り、他の農業委員・推進委員の方々と相談しながら農地の集積や耕作放棄地の解消に取り組みたい。

3.「別添３　経歴書」の、これまでの職歴や地域との関わり（土地改良区、自治会、生産者団体等の役職暦）のうち、地域に根ざした農業委員として活動するうえで特筆すべき点

・戸別訪問による農業者の情報収集と意向を把握し、地域の方々の手助けになれるよう努めたい。

4．推薦（応募）者は、公平・公正な立場で農業委員会の業務ができると思われるか。（思うか）

はい

受付番号	8	推薦を受ける者 応募者	木野田　光弘

推薦（応募）理由書

１.農業委員として推薦（応募）した主たる理由。抱負（委員として取り組みたい事項）

・地区で長年農業委員・推進委員をされていた方が勇退するということを聞き、地区の農業が衰退していくと感じました。

２.農業委員として取り組む、担い手への農地の集積や耕作放棄地の解消、新規参入の促進などの活動についての考え方

・自身も認定農家であり、担い手農家でもあることから、今後の遊休農地の増加や担い手農家の減少等数々ある山間部特有の問題に自身の経験を少しでも役立てられればという思いで、応募いたしました。最適化推進委員の役割りは、遊休農地の解消や防止、農地のあっせん活動等あると周知しておりますが、地区の農業振興発展のため微力ながら頑張りたいと思います。

３.「別添３　経歴書」の、これまでの職歴や地域との関わり（土地改良区、自治会、生産者団体等の役職暦）のうち、地域に根ざした農業委員として活動するうえで特筆すべき点

４．推薦（応募）者は、公平・公正な立場で農業委員会の業務ができると思われるか。（思うか）

はい

受付番号	9	推薦を受ける者 応募者	福岡　安行

推薦（応募）理由書

1.農業委員として推薦（応募）した主たる理由。抱負（委員として取り組みたい事項）

・福山地区において農業従事者が高齢化するなかで、下場地区の果樹園を守る為、新規参入者（特に町外者）の促進を図りたい。

2.農業委員として取り組む、担い手への農地の集積や耕作放棄地の解消、新規参入の促進などの活動についての考え方

・会社など定年退職者などに農業への参入を促進している。今年も２名果樹部会に加入してもらい活動してもらっています。

3.「別添３　経歴書」の、これまでの職歴や地域との関わり（土地改良区、自治会、生産者団体等の役職暦）のうち、地域に根ざした農業委員として活動するうえで特筆すべき点

・福山町果樹部会員として、20年以上会員として活動しています。また、２年前から会長として会員の加入推進や栽培管理、講習などを実施しています。

4．推薦（応募）者は、公平・公正な立場で農業委員会の業務ができると思われるか。（思うか）

はい

受付番号	10	推薦を受ける者 応募者	山田　久治

推薦（応募）理由書

1.農業委員として推薦（応募）した主たる理由。抱負（委員として取り組みたい事項）

・高齢化の高い地域なので、農地の出し手、受け手の情報収集提供や農地の集積・集約化を進めたい。
・遊休農地の発生防止の推進
・若手牛農家への農地情報

2.農業委員として取り組む、担い手への農地の集積や耕作放棄地の解消、新規参入の促進などの活動についての考え方

・高齢化の高い地域なので、農地の出し手、受け手の情報収集提供や農地の集積・集約化を進めたい。
・遊休農地の発生防止の推進
・若手牛農家への農地情報

3.「別添３　経歴書」の、これまでの職歴や地域との関わり（土地改良区、自治会、生産者団体等の役職暦）のうち、地域に根ざした農業委員として活動するうえで特筆すべき点

・役所担当者との積極的な話し合い

4．推薦（応募）者は、公平・公正な立場で農業委員会の業務ができると思われるか。（思うか）

はい

受付番号	11	推薦を受ける者 応募者	花牟禮　誠

推薦（応募）理由書

1.農業委員として推薦（応募）した主たる理由。抱負（委員として取り組みたい事項）

・自然とのつながりを深め、地域の持続可能な発展に貢献したい。

2.農業委員として取り組む、担い手への農地の集積や耕作放棄地の解消、新規参入の促進などの活動についての考え方

・農地情報を整理し、新規参入者への支援や持続可能な農業手法の普及を通じて、地域の農業発展を促進する。

3.「別添３　経歴書」の、これまでの職歴や地域との関わり（土地改良区、自治会、生産者団体等の役職暦）のうち、地域に根ざした農業委員として活動するうえで特筆すべき点

・地域での農業関連事業の経験から地元農家さんとの関係を築いている。

4．推薦（応募）者は、公平・公正な立場で農業委員会の業務ができると思われるか。（思うか）

はい

受付番号	12	推薦を受ける者 応募者	野元　新一

推薦（応募）理由書

1.農業委員として推薦（応募）した主たる理由。抱負（委員として取り組みたい事項）

・今回、周りの方からのすすめもあり、地域農家に貢献したいから。

2.農業委員として取り組む、担い手への農地の集積や耕作放棄地の解消、新規参入の促進などの活動についての考え方

・耕作放棄地の解消。

3.「別添３　経歴書」の、これまでの職歴や地域との関わり（土地改良区、自治会、生産者団体等の役職暦）のうち、地域に根ざした農業委員として活動するうえで特筆すべき点

4．推薦（応募）者は、公平・公正な立場で農業委員会の業務ができると思われるか。（思うか）

はい

受付番号	13	推薦を受ける者 応募者	山中　正樹

推薦（応募）理由書

1.農業委員として推薦（応募）した主たる理由。抱負（委員として取り組みたい事項）

・１期３年終了して、地元、上之段地区、中山間地区の次世代に農地を残したい。
・耕作放棄地の解消に取り組みたい。

2.農業委員として取り組む、担い手への農地の集積や耕作放棄地の解消、新規参入の促進などの活動についての考え方

・担い手農家へのいろいろな農地情報（あっせん活動）に取り組みたい。

3.「別添３　経歴書」の、これまでの職歴や地域との関わり（土地改良区、自治会、生産者団体等の役職暦）のうち、地域に根ざした農業委員として活動するうえで特筆すべき点

・国分肉用牛振興会の会長として、耕作放棄地の放牧地への転換を推進していきたい。

4．推薦（応募）者は、公平・公正な立場で農業委員会の業務ができると思われるか。（思うか）

はい

受付番号	14	推薦を受ける者 応募者	弓削　弘美

推薦（応募）理由書

1.農業委員として推薦（応募）した主たる理由。抱負（委員として取り組みたい事項）

・他に応募が無いとの連絡をもらい、あと１期頑張ってみようと考えた。

2.農業委員として取り組む、担い手への農地の集積や耕作放棄地の解消、新規参入の促進などの活動についての考え方

・新規参入など難しい時であると思うので、放棄地が少しでも出ないように見回り、作れる人に紹介していきたいと思う。

3.「別添３　経歴書」の、これまでの職歴や地域との関わり（土地改良区、自治会、生産者団体等の役職暦）のうち、地域に根ざした農業委員として活動するうえで特筆すべき点

4．推薦（応募）者は、公平・公正な立場で農業委員会の業務ができると思われるか。（思うか）

はい

受付番号	15	推薦を受ける者 応募者	重森　猛

推薦（応募）理由書

1.農業委員として推薦（応募）した主たる理由。抱負（委員として取り組みたい事項）

・溝辺地区の農業者の中堅的立場であり先輩や若手の橋渡し役として中心的な役割を担っている。そのような立場の中、農地の貸し借り等地域の実情を図りながら農地利用最適化推進委員として活動されることを期待している。

2.農業委員として取り組む、担い手への農地の集積や耕作放棄地の解消、新規参入の促進などの活動についての考え方

・本人が農業を営んでいる地域は、野菜・畜産を中心に農業が営んでいる十三塚原土地改良区内の台地であり、お茶も入作で生産されている。
・本人も農業経験のない中での転職・就職した経緯もあり新規参入者の苦労等も理解されていることから大いに期待できる。
・先に記載したとおり、多種多様な農業者が地域にいらっしゃることから、畜産以外にも理解があり、農地集積など十分活動が可能である。

3.「別添３　経歴書」の、これまでの職歴や地域との関わり（土地改良区、自治会、生産者団体等の役職暦）のうち、地域に根ざした農業委員として活動するうえで特筆すべき点

・溝辺地区の肉用牛振興会や認定農業者の会の役員もされている中、消防団員として地域活動に貢献されている。
・このような中で地域に根差した農地利用最適化推進委員として活動されることに問題もなく大いに期待できる。

4．推薦（応募）者は、公平・公正な立場で農業委員会の業務ができると思われるか。（思うか）

はい

受付番号	16	推薦を受ける者 応募者	末重　良規

推薦（応募）理由書

1.農業委員として推薦（応募）した主たる理由。抱負（委員として取り組みたい事項）

・溝辺地区の農業者の代表的立場であり、全国茶品評会でも農林水産大臣賞を受賞されるなど地域のリーダーとして活躍されている。
・現在も農地利用最適化推進委員として活動され、農地の貸し借り等積極的に地域に貢献されていることから、委員として的確であることから推薦した。

2.農業委員として取り組む、担い手への農地の集積や耕作放棄地の解消、新規参入の促進などの活動についての考え方

・経営者クラブで若手農業者育成の経験もあり、過去には農業大学校生の受け入れも行っており、積極的に後継者育成等に尽力されている。本人も後継者を育てていることから新規参入、担い手育成には期待が持てる。
・溝辺地区の十三塚原土地改良区を中心とした畑地帯で農業を営んでいることから農業への知識もしっかり持たれていることや農地中間管理機構等も利用されるなど農地集積など現在も積極的に活動されている。

3.「別添３　経歴書」の、これまでの職歴や地域との関わり（土地改良区、自治会、生産者団体等の役職暦）のうち、地域に根ざした農業委員として活動するうえで特筆すべき点

・溝辺地区の茶業振興だけではなく、市の教育を歴任されたり、合併前から現在もスポーツ推進にも尽力されており、幅広い視野での活動も期待できる。
・このような中で地域に根差した農地利用最適化推進委員として活動されることに今後も全く問題はないと思われる。

4．推薦（応募）者は、公平・公正な立場で農業委員会の業務ができると思われるか。（思うか）

はい

受付番号	17	推薦を受ける者 応募者	森田　勝美

推薦（応募）理由書

1.農業委員として推薦（応募）した主たる理由。抱負（委員として取り組みたい事項）

・土地改良区の推薦理由
森田勝美氏は溝辺地区の農業に精通し、これまでも農業委員、最適化推進委員として、農地利用調整や不耕作地の解消に努めてきた。土地改良区理事も３期に入り畑かん事業の推進、土地改良区運営にも大きく寄与して頂いている。これから先、土地持ち非農家が増加していくことが予想され、利用権の設定等が益々重要になってくる。このようなことから地域農地の状況、農業者に精通している森田氏に引き続き委員として頂きたく、当土地改良区として推薦します。

・本人の抱負
溝辺町有川地区の担当として15年間活動してきました。今後は高齢化等で農地不耕作地が多くなることが予想されます。そこで農業法人に協力をもらい、地区農地が不耕作地とならないよう努力します。

2.農業委員として取り組む、担い手への農地の集積や耕作放棄地の解消、新規参入の促進などの活動についての考え方

・土地持ち非農家が増えると予想される中で、農業経営に積極的な担い手に農地を優先的に斡旋し、地域農業を活性化させる。耕作放棄地の解消については、十三塚原環境保全管理協定による多面的支払交付金等を活用し農地再生を図り、利用権設定を行う。

3.「別添３　経歴書」の、これまでの職歴や地域との関わり（土地改良区、自治会、生産者団体等の役職暦）のうち、地域に根ざした農業委員として活動するうえで特筆すべき点

・土地改良区理事を務めて３期目となり、毎年度確実に組合員、受益地が減少している事が実感としてわかる。大規模農家による土地の集約化が進んでいると見れるが、他方後継者がいない生産者も増加しているのも事実である。農家を手放したいという農家も増えてくると思われる。
・土地改良事業が施行され整備された農地を今後も持続的に活かしていくためには、担い手への農地の斡旋や新規就農者の発掘が重要であり、そのためには農地の状況、人の知っていることが肝要と考える。これまで地元の農協、土地改良区理事、農業委員、最適化推進委員として農業一筋に携わってきた知見を活かし、微力ながら今後も推進委員として地域農業を支えて行きたい。

4．推薦（応募）者は、公平・公正な立場で農業委員会の業務ができると思われるか。（思うか）

はい

受付番号	18	推薦を受ける者 応募者	厚地　則和

推薦（応募）理由書

1.農業委員として推薦（応募）した主たる理由。抱負（委員として取り組みたい事項）

・令和５年度まで推進委員として活動させて頂きましたが、まだまだ勉強する事が多く今後も霧島市の農業と農政について学ばせて頂きながら地域社会へ貢献していきます。

2.農業委員として取り組む、担い手への農地の集積や耕作放棄地の解消、新規参入の促進などの活動についての考え方

・農業を仕事としているが、霧島市平地部の商業と農業の共存や中山間地の担い手育成が課題と感じています。平地部は工場の進出や住宅地化により農地の減少が続いており大規模農家や担い手とのニーズが不一致している。一方で中山間地は圃場整備が遅れて耕作が厳しく担い手不足や耕作放棄地の増加が課題です。この事から中山間地で圃場整備を行い、担い手に広く使えるブロックをつくり今後増えるであろう大規模農家の移転・稼働や有機農業にも対応出来るようサポートしていきたい。

3.「別添３　経歴書」の、これまでの職歴や地域との関わり（土地改良区、自治会、生産者団体等の役職暦）のうち、地域に根ざした農業委員として活動するうえで特筆すべき点

・国分農地水保全組織広瀬支部での活動は地域の農業者や公民館との繋がりが必要です。地域の農地、農道用水路の保全に農業者はもとより、公民館の方々と有償ボランティアで活躍出来る事が特筆すべき点です。

4．推薦（応募）者は、公平・公正な立場で農業委員会の業務ができると思われるか。（思うか）

はい

受付番号	19	推薦を受ける者 応募者	鮫島　拓己

推薦（応募）理由書

1.農業委員として推薦（応募）した主たる理由。抱負（委員として取り組みたい事項）

・地域の活性化に伴い担い手の発掘。

2.農業委員として取り組む、担い手への農地の集積や耕作放棄地の解消、新規参入の促進などの活動についての考え方

・農地などのあっせん、集積だけ行うのではなく、その土地の利用性の紹介、野菜などの種別、土地にあった作物の紹介と流通。

3.「別添３　経歴書」の、これまでの職歴や地域との関わり（土地改良区、自治会、生産者団体等の役職暦）のうち、地域に根ざした農業委員として活動するうえで特筆すべき点

・自治会に参加し、情報の共有を行う。

4．推薦（応募）者は、公平・公正な立場で農業委員会の業務ができると思われるか。（思うか）

はい

受付番号	20	推薦を受ける者 応募者	西　芳朗

推薦（応募）理由書

1.農業委員として推薦（応募）した主たる理由。抱負（委員として取り組みたい事項）

・遊休農地をなるべく減らし、荒廃農地をなくしたい。

2.農業委員として取り組む、担い手への農地の集積や耕作放棄地の解消、新規参入の促進などの活動についての考え方

・遊休農地になりそうな所は、近隣の耕作者に紹介又は大規模耕作者に紹介する。
・新規参入者がいた場合は協力し、ほ場を探す。
・耕作放棄地も発生しないように近隣耕作者に声かけし、耕作者を探す。
・地域の担い手農家と緊密に連携をとり、地域の発展に協力する。

3.「別添３　経歴書」の、これまでの職歴や地域との関わり（土地改良区、自治会、生産者団体等の役職暦）のうち、地域に根ざした農業委員として活動するうえで特筆すべき点

・茶の生産販売を行っているので、他の茶農家のつながりを生かし地域の農地の有効活用を進める。
・地域の農地の有効活用を進める。
・現在、推進委員を２期努めていますので、これまでの経験を生かし、地域の農業発展や農地の適正利用に微力ながらお手伝いさせて頂きたいと思います。

4．推薦（応募）者は、公平・公正な立場で農業委員会の業務ができると思われるか。（思うか）

はい

受付番号	21	推薦を受ける者 応募者	徳丸　慎一郎

推薦（応募）理由書

1.農業委員として推薦（応募）した主たる理由。抱負（委員として取り組みたい事項）

・地方公務員として在職した農政、土木（主として）経験を活かしたい。

2.農業委員として取り組む、担い手への農地の集積や耕作放棄地の解消、新規参入の促進などの活動についての考え方

・農地利用状況調査で得た農地情報を農地を求める農家へ提供する。

3.「別添３　経歴書」の、これまでの職歴や地域との関わり（土地改良区、自治会、生産者団体等の役職暦）のうち、地域に根ざした農業委員として活動するうえで特筆すべき点

・通算３期６年地区自治公民館役員として、地域住民と関わった経験を活かし、農家に接したい。

4．推薦（応募）者は、公平・公正な立場で農業委員会の業務ができると思われるか。（思うか）

はい

受付番号	22	推薦を受ける者 応募者	窪田　敏

推薦（応募）理由書

1.農業委員として推薦（応募）した主たる理由。抱負（委員として取り組みたい事項）

・木原地区の耕作放棄地の解消

2.農業委員として取り組む、担い手への農地の集積や耕作放棄地の解消、新規参入の促進などの活動についての考え方

・農業に従事する人の高齢化でなかなか難しいと思うが、現在農業に従事する人たちが使いやすいように農地集積や耕作放棄地の解消ができたらいいと思う。

3.「別添３　経歴書」の、これまでの職歴や地域との関わり（土地改良区、自治会、生産者団体等の役職暦）のうち、地域に根ざした農業委員として活動するうえで特筆すべき点

4．推薦（応募）者は、公平・公正な立場で農業委員会の業務ができると思われるか。（思うか）

はい

受付番号	23	推薦を受ける者 応募者	肥後　亮子

推薦（応募）理由書

１.農業委員として推進（応募）した主たる理由。抱負（委員として取り組みたい事項）

・過去に農地からの宅地造成や父からの相続で水田、畑の名義変更を農業委員会からの許可等でお世話になった経緯があり、３条、４条、５条の各種申請に興味が湧きました。
誰でも分かる様に、説明出来る様に、勉強したくて応募しました。

２.農業委員として取り組む、担い手への農地の集積や耕作放棄地の解消、新規参入の促進などの活動についての考え方

・遊休農地解消と担い手への農地集積は、現在解決しないといけない優先課題として考えています。
・若い人の意見要望を聞いて１件でも解決していきたいと考えます。
・新規参入についても多くの意見を聞いて１件でも参入者を増やせる様な活動をしていきたいと考えます。

３.「別添３　経歴書」の、これまでの職歴や地域との関わり（土地改良区、自治会、生産者団体等の役職暦）のうち、地域に根ざした農業委員として活動するうえで特筆すべき点

・特になし
・農業委員会事務局の臨時職員として、２年程度経験したのみです。
・現在、自治会の女性協力員として活動中。

４．推薦（応募）者は、公平・公正な立場で農業委員会の業務ができると思われるか。（思うか）

はい

受付番号	24	推薦を受ける者 応募者	久保　竜也

推薦（応募）理由書

1.農業委員として推進（応募）した主たる理由。抱負（委員として取り組みたい事項）

・平成28年より霧島市より移住し農業について学び、現在起業し農業を大規模に経営しております。今まで培ったノウハウを糧に、霧島市で霧島市の農業と農政について学ばせて頂きながら地域社会へ貢献していきます。

2.農業委員として取り組む、担い手への農地の集積や耕作放棄地の解消、新規参入の促進などの活動についての考え方

・農業の拠点としている横川地区は中山間地区で担い手不足や耕作放棄地の増加が課題となっている。今回始めて推進員を希望することから、他の農業委員・推進員の方々と連携を密にして学び、農地の貸借について困っている農地所有者と耕作者のマッチングに積極的に努めたい。

3.「別添3　経歴書」の、これまでの職歴や地域との関わり（土地改良区、自治会、生産者団体等

・霧島市で、国庫事業「多面的機能支払交付金事業」の黒葛原地区の協定団体に加入し役員を努めながら、地域の農地、農道用水路の保全について、拠点の地域において団体の方々と活動している事など。

4．推薦（応募）者は、公平・公正な立場で農業委員会の業務ができると思われるか。（思うか）

はい

受付番号	25	推薦を受ける者 応募者	馬場　健

推薦（応募）理由書

１.農業委員として推進（応募）した主たる理由。抱負（委員として取り組みたい事項）

・私の祖父母は溝辺で会社に勤めながら、お茶と大根とお米、その他の農作物を生産する農家として生計を立てておりました。私も祖父母の生前は田畑の手伝いをして育ちました。

まだ祖父母が在命の頃から周囲の田んぼも高齢化が進み、どんどんと周辺が耕作放棄地となっていきました。その放棄地が竹林となり祖父母の田んぼにも竹が越境してきて、耕す術もないまま祖父母も稲作を諦めました。当時インターネットもなく情報も少なかったので、手を打てないまま原野になりました。今もそのままですが、自分の土地の境界線もわからない状況に陥ったままとなっています。

自分は約20年の会社勤務を経て現在の仕事に至ります。いつか農家になりたいと願望を持ち続けてきました。ここ10年ほどは様々な媒体を通じて、全国の農地が抱える問題や新規就農を志す方々の事などを自分を照らし合わせながら就農の道を探ってきました。祖父母の残してくれた土地があり、そこを丸々相続したことも併せて、近々就農する予定です。

また、自宅の裏にも耕作放棄地があり、周辺を住宅３件が囲んでいて、皆が迷惑している事も放棄地へ関心を寄せたきっかけでもあります。

自分の畑のすぐ近くにある畑の持ち主さんが吉野在住の高齢女性の方で、真夏の炎天下に何日もかけて草払いをされていたので心配になり声をかけたら、年金暮らしでシルバーなどは頼めないが、放置して周辺地域の方に迷惑もかけられないので自分で処理するしかないと返答されました。あまりに高齢の方で心配だったので、今後はボランティアで耕運と草払いを私の方でする旨お伝えして、その後管理しています。このような方が管理している田畑が多くあるのだろうと思い、非常に身近な問題として逼迫している事を感じます。

私は霧島市商工観光部が開催したリノベーションスクールの第１期生です。リノベーションスクールを経て、市役所の方や市内で事業をされている方々と協力して、まちおこしの取り組みや活性化のためのシンポジウムなどにも積極的に参加し関わってきました。その活動に取り組みながら生まれ育った溝辺の町にも貢献したい思いを持ち、同級生でもあり霧島市議の今吉氏の主催するまちおこし団体にも所属し活動して参りました。

また、居住している論地柿場地区の自治会長も２年連続で担っており、以前より暮らしている高齢の方と30代40代の移住してきた現役世代との橋渡しを心掛けを心掛けながら、どちらの方々にも無理のない、よりよい地域を作っていけるようコミュニケーションを大切にしながら日々奮闘しています。

２.農業委員として取り組む、担い手への農地の集積や耕作放棄地の解消、新規参入の促進などの活動についての考え方

・山間部の畑の獣害が多く住宅地への被害も多く耳にします。問題の解消のため、山間部の耕作放棄地を減らし、山間部に人間が出入りする事によって、獣害を減らせると考えます。山間部の田畑に人間が出入りする仕組みを構築していく必要があると考えます。委員として提案し他の委員の方々に相談しながら貢献していきたいです。

また、福岡出身の知人がブルーベリーの観光農園を始めるということで、農地を探したり農家を紹介したり協力したのですが、その際霧島市の商工観光課の方は対応されていました。若い方が新規就農する際に、ある程度ロードマップのようなものがあると頓挫せず進めやすいのではないかと感じました。若い世代には兼業として農家になりたい気持ちを持つ人も多くいます。働き方改革により自分の時間が増え、高齢化により農業の担い手が足りない今だからこそ就農しやすい仕組み作り、そしてその情報を発信していけたらと思っています。

３.「別添３　経歴書」の、これまでの職歴や地域との関わり（土地改良区、自治会、生産者団体等

・Ｒ４年度・Ｒ５年度論地柿場地区の自治会長
・リノベーションスクールに関連するまちおこし事業
・任意団体〔きりしまみぞベル〕のまちおこし事業

４．推薦（応募）者は、公平・公正な立場で農業委員会の業務ができると思われるか。（思うか）

はい